



Press Release

2009 年 10 月 5 日

PREMG09-66

アナログ解析、デジタル解析、プロトコル・アナライザ機能を搭載した 3 in 1 コンセプトの大画面オシロスコープに 600 MHz モデルを追加 MIPI や SATA にも対応する測定アプリケーションも発表

アジレント・テクノロジー株式会社（社長：海老原 稔、本社：東京都八王子市高倉町 9 番 1 号）は、アナログ解析、デジタル解析、プロトコル・アナライザ機能を搭載した 3 in 1 コンセプトの大画面オシロスコープ「Agilent Infiniium (インフィニウム) DSO/MS09000 シリーズ オシロスコープ」に、600 MHz 帯域モデル「DS09064A」、「MS09064A」の 2 モデルを追加、本日より販売を開始します。あわせて、MIPI や SATA に対応するアプリケーションなど 3 種と GPIB 接続機能も発表します。出荷開始は 2009 年 10 月中を予定しています。

これにより、「Agilent Infiniium DSO/MS09000 シリーズ オシロスコープ」は、600 MHz 帯域から 4 GHz 帯域までとラインアップが拡充すると同時に、MIPI や SATA に対応する業界初のミックスド・シグナル・オシロスコープ (MSO) となります。

オシロスコープはエレクトロニクス機器のテストやデバッグに必須の測定器となっており、不具合のない製品をいち早く開発し市場投入するため、多機能オシロスコープへのニーズが高まっています。今回発表の「Agilent Infiniium DSO/MS09000 シリーズ オシロスコープ」の 600 MHz モデルは、低価格ながら、組み込み機器で使われるさまざまな信号やバスのデバッグや評価に必要な波形観測・解析機能を有するオシロスコープです。また、オプションで、ロジックアナライザ機能、プロトコル・アナライザ機能も提供します。

「Agilent Infiniium DSO/MS09000 シリーズ オシロスコープ」は、このクラスのおシロスコープでは業界で唯一、測定帯域、メモリ、MSO 機能へのトリプル・アップグレードを実現しています。昨今、汎用測定器であるオシロスコープは、将来の開発を見据えて高性能機種に先行投資するのではなく、現在の開発に必

要十分な性能を持つ機種を購入する傾向が強まっています。9000 シリーズでは最初に 600 MHz モデルを購入し、将来、帯域が不足した際に、1GHz、2.5GHz、4GHz へと帯域をアップグレードすることができます。初期投資を抑えることができるだけでなく、後から機能を拡張することが可能なため、最小限の投資で最新のアプリケーションに対応することが可能です。

「N8802A MIPI-DPHY プロトコル・デコード機能」、 「U7238 MIPI-DPHY コンプライアンス・テスト・ソフト」概要

600 MHz 帯域モデルの追加に加えて、9000 シリーズの広帯域モデル上で動作する測定アプリケーションも合わせて発表します。昨今、携帯電話端末内で使われるシリアルバスの物理層規格「MIPI-DPHY」に対する測定要求が高まっています。9000 シリーズは、MIPI-DPHY コンプライアンス試験およびプロトコル解析機能を搭載する初のオシロスコープとなります。これにより MIPI 規格を採用する携帯電話端末の開発加速に貢献します。物理層からプロトコル層の測定までを迅速に行い、MIPI-DPHY 規格に準拠しているかを確認するコンプライアンス試験を自動化することが可能となります。

「N8801A SATA/SAS プロトコル・デコード機能」概要

ストレージを搭載する電子機器のうち、低価格化の要求が高いものや過去の規格との互換性が重視される場合には、SATA1 規格が使われることがあります。9000 シリーズを使用すれば、SATA1 の物理層およびプロトコル層に関する情報を簡単に見ることができます。また、さらに高速な 3 Gbps の SATA II 規格向けにはコンプライアンス試験ソフトウェアおよびプロトコル・デコード機能を提供しています。

「N4865A GPIB-LAN 変換アダプタ」概要

LAN および USB 接続を使うと、GPIB インタフェースを使用する場合に必要なプログラム作成の手間を削減することができますが、依然として GPIB を使用した測定システムも多用されています。今回発表の「N4865A GPIB-LAN アダプタ」を使用することで、GPIB インタフェースを内蔵していない 9000 シリーズを GPIB 対応機器のように扱うことができるようになります。これにより、自動測定環境でも 9000 シリーズを採用しやすくなります。

当社のオシロスコープ・ビジネス担当副社長兼ジェネラルマネージャのスコット・サンプル (Scott Sample) は次のように語っています。

「今年投入した Infiniium 9000 シリーズについては、お客様から好評を博しています。このたび、ラインアップを拡充したことで、より多くのお客様に、この多機能オシロスコープをご利用いただけるようになりました。」

「Agilent Infiniium DSO/MSO9000 シリーズ」、および当社のオシロスコープ製品群についての詳細は以下のウェブサイトでご覧いただけます。

<http://www.agilent.co.jp/find/9000>

製品写真は以下のウェブサイトからダウンロードいただけます。

http://www.agilent.com/find/9000_images

販売方針

* **目標市場**： デジタル回路や組み込み機器の開発、設計、評価部門向け

* **参考販売価格 (税込)**：

DSO9064A (600 MHz 帯域、アナログ 4 チャンネル)	2,251,509 円
MSO9064A (600 MHz 帯域、アナログ 4 チャンネル／デジタル 16 チャンネル)	2,625,981 円
N8801A SATA/SAS プロトコル・デコード機能	209,281 円
N8802A MIPI-DPHY プロトコル・デコード機能	209,281 円
U7238 MIPI-DPHY コンプライアンス・テスト・ソフト	503,370 円
N4865A GPIB-LAN 変換アダプタ	107,557 円

* **販売開始日**： 2009 年 10 月 5 日

* **出荷開始時期**： 2009 年 10 月

#

お客様からのお問い合わせ先 (記事掲載時の連絡先もこれでお願ひします)：

計測お客様窓口

電話：0120-421-345

この発表に関する報道関係者各位からのお問い合わせ先：

企画・広報部 関

電話：042-660-8426

アジレントのデジタル・テスト標準プログラムについて

当社の専門家はさまざまな国際標準化団体に参加しており、各種デジタル規格向け測定環境の発展やサポートに貢献しています。当社ではこれをデジタル・テスト標準プログラムと呼んでいます。たとえば、Joint Electronic Devices Engineering Council (JEDEC)、PCI Special Interest Group (PCI-SIG®)、Video Electronics Standards Association (VESA)、Serial ATA International Organization (SATA-IO)、USB-Implementers Forum (USB-IF)、Mobile Industry Processor Interface (MIPI) Allianceをはじめとする数多くの団体に参加しています。これらの規格化団体、関連するワークショップ、プラグフェスト、セミナーに参加することで、当社は適切なタイミングで適切な測定環境を提供することが可能となっています。

アジレント・テクノロジーについて

アジレント・テクノロジー (NYSE:A) は、コミュニケーション、エレクトロニクス、ライフサイエンス、化学分析市場における世界のプレミア・メジャメント・カンパニーであり、またテクノロジー・リーダーでもあります。18,000名の従業員を擁し、110カ国以上でビジネスを展開しています。アジレントは、2008年度、58億ドルの売上高を達成しました。アジレント・テクノロジーの情報は、以下のウェブサイトをご覧ください。

<http://www.agilent.co.jp>